



野馬土の新聞

(Web版)

2020年6月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白髭320
TEL.26-8437
FAX.26-8203

コロナに負けるな!



五月二十九日、カフェ野馬土にて 特定非営利活動法人野馬土第九回総会』および 令和二年度第一回理事会』を開催しました。今回も東京から渡邊織音理事がZoomでリモート参加し、杉 和昌代表理事を議長に総会を進めました。平成三十一年度活動報告、決算報告、役員改選の議案を審議し、総会終了後は、令和二年度第一回理事会を三浦広志代表理事議長のもと開催、今年度の年間方針を決定しました。農業を中心に相双地域を活性化させていくという目標を再確認し、目標達成に向けて今年度の取り組みを展開していくことになりました。また、今年度申請をしていた『ふるさと・きずな維持再生支援事業補助金』と『福島県県内避難者・帰還者心の復興事業補助金』が採択となり、来年三月まで毎月スケジュールを組んで事業に取り組んでいきます。理事会終了後は、同会場で懇親会を行い、お酒や食事を囲みながら、野馬土の成り立ちや今後の必要性なども話題になり、大変有意義な懇親会となりました。相馬地方の農業と地域の復興を目指して設立から9年を迎え、会員・職員一丸となって今までよりさらに活発な活動を展開してまいります。今後野馬土の活動に対しご支援とご協力をよろしくお願いたします。



今年度の活動について活発な意見が飛び交いました。



みつばち花壇プロジェクトに参加しました

ネオニコチノイド系農薬の使用が原因で、みつばちが激減しているということが近年知られてきています。農民連では、全国的にみつばちの好きな花を植えてみつばちを増やしましょう！という目的で『みつばち花壇プロジェクト』を推進しています。浜通り農民連もプロジェクトに参加し、昨年の秋に新地・相馬支部と南相馬支部の女性部のみなさんと一緒にレンゲ・クローバー・ヘアリーベッチの種を蒔きました。あれから七カ月、きれいに咲いたお花に沢山のみつばちやテントウムシが集まり、プロジェクトは大成功！天気にも恵まれ、爽やかな青空のもと撮影会を行いました。



『Green Veiled』 六月一日より再開!

四月のオープン早々、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休業しておりました、小高区金谷の復興展示施設『Green Veiled』を六月一日より再開いたしました。再開に先立ち、先日『みつばち花壇プロジェクト』の成果としての写真撮影を終えた花壇のクローバーやヘアリーベッチを刈り取りました。せっかくなので集まってくれたみつばちに申し訳ないと思いますが、キレイに除草。今後はお花の苗などを植えて景観のよい花壇にして行きたいと思っております。『Green Veiled』にもぜひお越しください。

開場時間 平日午前10時〜午後4時



避難者・帰還者・心の復興事業 交流イベント予定

七月二日(木) アロマ講座
〔化粧水・ハーブビネガー作り〕

七月中旬 ハンドメイド講座
〔オリジナル扇子作り〕

七月下旬 じゃがいも収穫体験

※内容は変更になる場合があります。
詳細は随時チラシやSNS等で発信します。

